



碧南ロータリークラブ週報

第2528回例会 平成22年12月15日(水)

● 会長 奥田 雪雄 ● 幹事 新美 宗和 ● 会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優



● 斉 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のメニュー

季節のお弁当 とんがり帽子

会 長 挨拶

本日は「素読」についてお話したいと思います。

私事ではありますが、息子がとあることに関心をもち勉強しておりました。ある日、私に次のような「問い掛け」をしてまいりました。「覚えたつもりが、すぐに忘れてしまう。どうしたらいい」と。私は即座に答えてやりました。「何度も何度も声を出して、繰り返し読むことだ。できれば、実際に二度、三度と書いてみることだ」と。「覚えようとしなくてよい。覚えようとする必要はない。そうすれば自然と身体の中にしみこんでくるものだ」と。

「美しい日本の詩歌」の著者・土屋秀宇（つちやひでお）氏は著者の中で次のように言っておられます。私の意見と合致しましたので御紹介することにしました。

「読書百編意自ずから通ず」という言葉があります。この場合の読書とは「声に出して読む」ことを表しています。文章の意味はすぐに解らずともよい、何度も繰り返して声に出して読んでいくうちに自然と意味が分かっていくという意味です。日本では、このような方法を「素読」と呼び、伝統的な学び方としてきました。そして、古典と呼ばれるものが、過去の長い年月にわたって多くの人々に親しまれ、時代をこえて、人間としての生き方の模範となり教養のもととされました。つまり、日本人としての精神的骨格をつくりあげてきたわけです。

ところが、敗戦後の昭和22年、文部省は「学習指導要領」において、「中学校の国語教育は、古典の教育から解放されなければならない」との一文をいれました。古典の言葉との断絶は、文化・歴史との断絶であり、良き生き方との断絶となり、現在の状況はそのことが尾を引いていると思われまます。

古典には永遠の生命があり、古典の偉大な文章を反復朗読するという単純な作業が、子供達の魂に計り知れない影響をあたえると思います。

「素読」の文化を取り戻したいと思いませんか、皆様。

幹 事 報 告

- ・ 例会等は報告書の通りです。
- ・ 次回の例会は家族会です。 午後5時からですので宜しくお願いします。
- ・ 新年は1月12日ですので宜しくお願いします。



奥田雪雄会長



新美宗和幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数73名(内出席免除者16名の内出席者10名)出席者58名

出席対象者 58/66名 出席率 87.88%

欠席者15名(病欠者1名) 前々回修正出席率 97.01%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

地区国際奉仕委員長 黒田勝基様 国際奉仕の卓話をさせていただきます。

加藤丈太郎君 介護保健対応による、デイサービス40人、グループホーム18床を中山町にて12月末よりオープンすることになりました。よろしくようお願い申し上げます。

山中 寛紀君 本日の卓話の講師、黒田勝基様の紹介をさせていただきます。

竹中 誠君 先日、木村徳雄君のお世話で楽しい京都の夜を過ごすことができました。

卓話

「国際奉仕活動について」 地区国際奉仕委員長委員 高浜RC 黒田 勝基君

世界理解月間と国際奉仕プログラム＝世界の夢の実現を クラブの夢と活力を重ねよう



1. 国際奉仕委員会の2010-11年度活動方針について

- ・国際友好、海外クラブとの交流状況については過去を含め経験ありのクラブが68%
- ・国際交流(友好)が青少年交換活動や世界社会奉仕活動の基本
- ・さらなる国際友好の推進をお願いします

2. 世界社会奉仕活動について

一部クラブから資金をお預かりして地区WCS委員会がプロジェクトを進めています。また、文房具、衣料等もお預かりして対象地区への一括発送も実施しています

- ・2月は世界理解月間です。
- ・3360地区(タイ)への愛知ロータリー奨学基金贈呈を毎年継続中、ラオスに学校建設4校
- ・3360地区と連携してベトナム(今年度より)に保険学校寮建設等プロジェクトを推進中
- ・プロジェクトリンク(世界はどんな援助を求めているか?)での検索

<http://www.rotary.org/>→奉仕と親睦→プロジェクトのリソース→ProjectLINK→WCSプロジェクト一覧

3. 3月は識字率向上月間です(9月8日は国際識字デー)

- ・識字率向上に関して
日本においても、識IT率向上の必要があります
今年度より識字率向上委員会が国際奉仕委員会の小委員会として編成されました
- ・識字率向上は、経済的発展・健康的な生活・平和になくはなりません
- ・識字率向上に向け協力をお願いいたします
- ・台湾3500地区とR財団グローバル資金を使っての識字率向上プロジェクトを検討中

4. ロータリー財団との連携＝ロータリーの未来の夢計画(2010年よりのパイロット地区に選定)

①新地区補助金 年間約17万ドルの予算でクラブ独自のプロジェクトに対応

比較的短期、小規模のプロジェクトに対応

②グローバル補助金 年間約17万ドルの予算(今年度)で、6つの重点分野(平和と紛争予防/紛争解決・疾病予防と治療・母子の健康・水と衛生設備・基礎教育と識字率向上・経済開

発と地域開発)に限定され15千ドルから20万ドルの範囲でのプロジェクト(事業規模3万から40万ドル)が中心、2カ国以上のクラブまたは地区参加、国際プロジェクトのみ等の制約あり

今年度よりのR財団の未来の夢計画におけるグローバル補助金活用の受け皿は国際奉仕委員会の世界社会奉仕プロジェクトが大きな役割を果たすと考えています

5. D. 2760の取り組み

- ハードウェアとしての学校建設や、衣服、文房具の寄贈を行っています(一次元の奉仕)。
- 学校等のハードウェアの本来持っている機能を十分生かすためには、継続性のあるソフトウェアが必要です。
- 継続性のあるソフトウェアの提供は各ロータリークラブでしか担えません。
- 継続性ある奉仕活動は、時間軸で評価できる積分としての面積の効果を発揮します(二次元の奉仕)。
- クラブ対クラブのマッチンググラントによる継続性ある奉仕活動は、空間軸で評価できる体積としての効果を発揮します(三次元の奉仕)。
- R財団の未来の夢計画に参加していただき、グローバル資金の活用によって他地区との連携で大きな成果を挙げていただきたいと思います。
その活動が、国際奉仕活動の世界社会奉仕であり、世界理解と平和を実現するものであると思います。

次回例会案内 平成23年1月19日(水)
卓話「中国最新事情 ー最も近くて遠い隣人ー」
会員 長田 和徳君